

平成27年度の研究について

新浜小学校 研究推進部

◇ 研究主題について

自ら健康な身体づくりができる子どもの育成 —学び合いを生かした体育学習指導を通して—

(1) 研究目標

学び合いを生かした体育科学学習指導を通して、自ら健康な身体づくり(運動習慣づくり)ができる子どもの育成を目指した学習活動の在り方を究明する。また、低、中、高学年のマット運動、ボール運動の単元計画や子どもたちがわかる指導言語(動きの言語化)を作成する。

(2) 主題に対する考え方

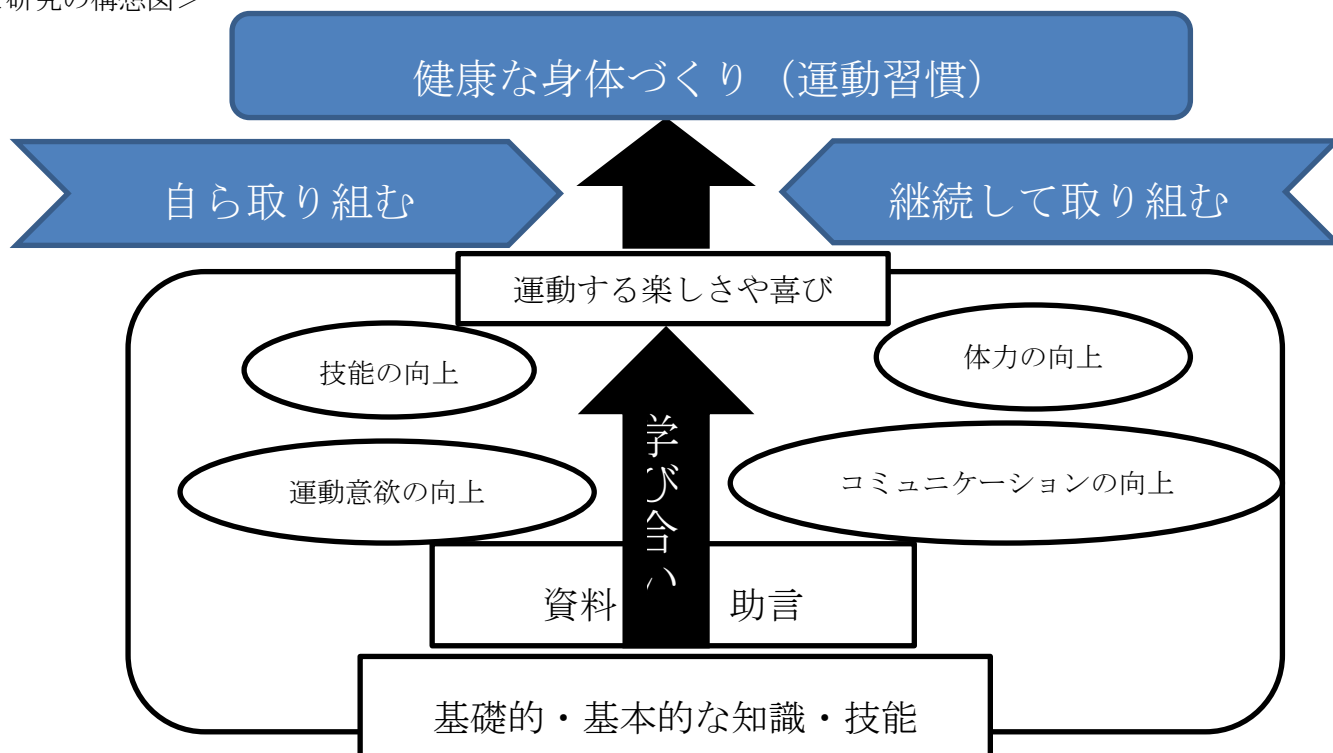
「学び合い」とは、児童が身に付けた基礎的・基本的な知識(思考・判断)や技能、学習資料などを活用しながら教え合って、学習課題を解決していこうとする児童の姿として捉えることとした。

【児童の具体的な姿】 学習指導要領から抜粋

		低学年	中学年	高学年
ボール運動(ゴール型)	基礎・基本的な技能	○簡単なボール操作 ボールをつく。 転がす。 投げる。 当てる。 捕る。 蹴る。 止める。 ○動き方を知り、攻め方を見つける。 知識(思考・判断)	○基本的なボール操作 (味方にボールを手渡したり、パスを出したりすること。) ○ボールを持たない時の動き (ボール保持者と自分の間に守備がいないように移動する。) ○ゲームの特徴に合った攻め方を知り、簡単な作戦を立てること。 知識(思考・判断)	○ボール操作 (近くにいるフリーの味方にパスを出すこと。) (相手にとられない位置でドリブルをすること。) ○ボールを受けるための動き (ボール保持者と自分と間に守備を入れないように立つ。) (得点しやすい場所に移動) ○チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てること。 知識(思考・判断)
	学び合い	○基礎的・基本的な技能をもとに、友だちのよい動き(投げ方や受け取り方のポイント)に気付き、まねしようとしている。	○新しい技やこれまでの経験をもとに、よい動き(投げ方や受け取り方のポイント)を見付け、改善している(課題を選ぶ)。 ○ゲームの特徴に合った攻め方を知り、簡単な作戦を立てる。	○習得した新しい知識や経験をもとに、課題解決の方法を選んだり工夫したりしている。 ○チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てる。

マット運動	基礎・基本的な技能	(マットに背中や腹などを順番に接触して、いろいろな方向に転がる) ↓ 回る感覚をつかむ。 (手や背中で体を支えているいろいろな逆立ちをする) ↓ 腕支持力をつける。 ○運動遊びの行い方を知る。 知識(思考・判断)	○基本的な回転技や倒立技に取り組み、自己の能力に適した技ができるようにする。 回転系 (前転、後転) 倒立系 (壁倒立、腕立て横跳び越し) ○回転系や倒立系のポイントを知る。練習方法を知る。 知識(思考・判断)	○基本的な回転技や倒立技に安定して行うとともに、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりする。 回転系 (大きな前転、開脚前転、開脚後転) 倒立系 (補助倒立、頭倒立、ブリッジ、側方倒立回転) (技の組み合わせ方) ○回転系や倒立系のポイントを知る。技のつなぎ方を知る。 知識(思考・判断)
	学び合い	○基礎・基本的な技能をもとに友だちのよい動き(技のポイント)に気付き、まねをしようとしている。	○新しい技やこれまでの経験をもとに、よい動き(回転系・倒立系の技のポイント)を見付け、改善している(課題を選ぶ)。	○習得した技や経験をもとに、課題解決の方法を選んだり工夫したりしている。

<研究の構想図>



(3) 2年間の研究をふりかえって

○平成25年度の成果

「体力向上」、「食に関する指導の充実」、「望ましい生活リズムの確立」、「安全」の4つの柱で「自ら健康な身体づくりができる子どもの育成」を目指して取り組む。



その結果、4つの柱に分かれてやることより、焦点化した方が効果は大きいと考え、1本化した。

その上で

- ・「食に関する指導の充実」と「望ましい生活リズムの確立」は、家庭との連携が必要になるし、家庭環境に左右される要素が多い。
- ・「安全」は、避難訓練や行事で取り組む内容であり、研究として進めていくことが難しい。



その結果

学力の差に関係なく、誰でも参加でき、指導の成果がはっきりしている体育科がよいという結論になった。

○平成26年度の成果

- ・体育は、系統性が大事であること。

低学年から基礎的・基本的な技能を身に付けさせること（児童の具体的な姿の表 参照）
マット運動では、低学年から腕支持力や回転感覚を養うこと（マット運動系統表 参照）

- ・動きを言語化(短い言葉で)することで、子どもたちはイメージができるし、ポイントを知れる。
- ・ボール運動では、ドリル学習（記録を載せる・ゲーム性）で基礎的・基本的な技能を身に付けさせる。

①ドリル

②タスク（習得すべき課題が明確でその課題が頻繁に学習できるように、人数やコートの実ミニ化を図ったり、ルールの変更を行ったりするゲーム）

③ゲーム

- ① から③の流れで行うことで技能が身に付きやすい。（教師が指導しやすい）

- ・場の設定や言葉かけを意図的に行うことで技術の向上や意欲的な活動につながる。

(4) 研究仮説

<仮説>

体育科の学習指導において、(ア)基礎的・基本的な知識（思考・判断）・技能を習得させ、(イ)学び合う学習を工夫すれば、児童が運動の楽しさを味わい、運動に親しみ継続して取り組もうとする健康な身体づくり（運動習慣）が身に付くであろう。

(ア)基礎的・基本的な知識（思考・判断）・技能を習得させる。（3年目）

○児童の具体的な姿、マット運動系統表、昨年度の反省を見て、単元計画を作成する。

児童の発達段階に合わせた指導目標や内容を低、中、高に分け明らかにし、指導案に書き入れる。

○運動の特性に応じた内容を取り上げ、児童が楽しさや喜びを感じることができるようにする。

○1単位授業の流れの工夫をする。

例えば、主運動につなげる予備的な運動⇒学習課題の設定（認識）

⇒主運動として課題解決のための学び合いや活用する方法や活動⇒評価とまとめ

(イ)学び合う学習を工夫する。（3年目）

○動きの言語化

○場の工夫をする。

○教師の言葉かけ

○学習カード

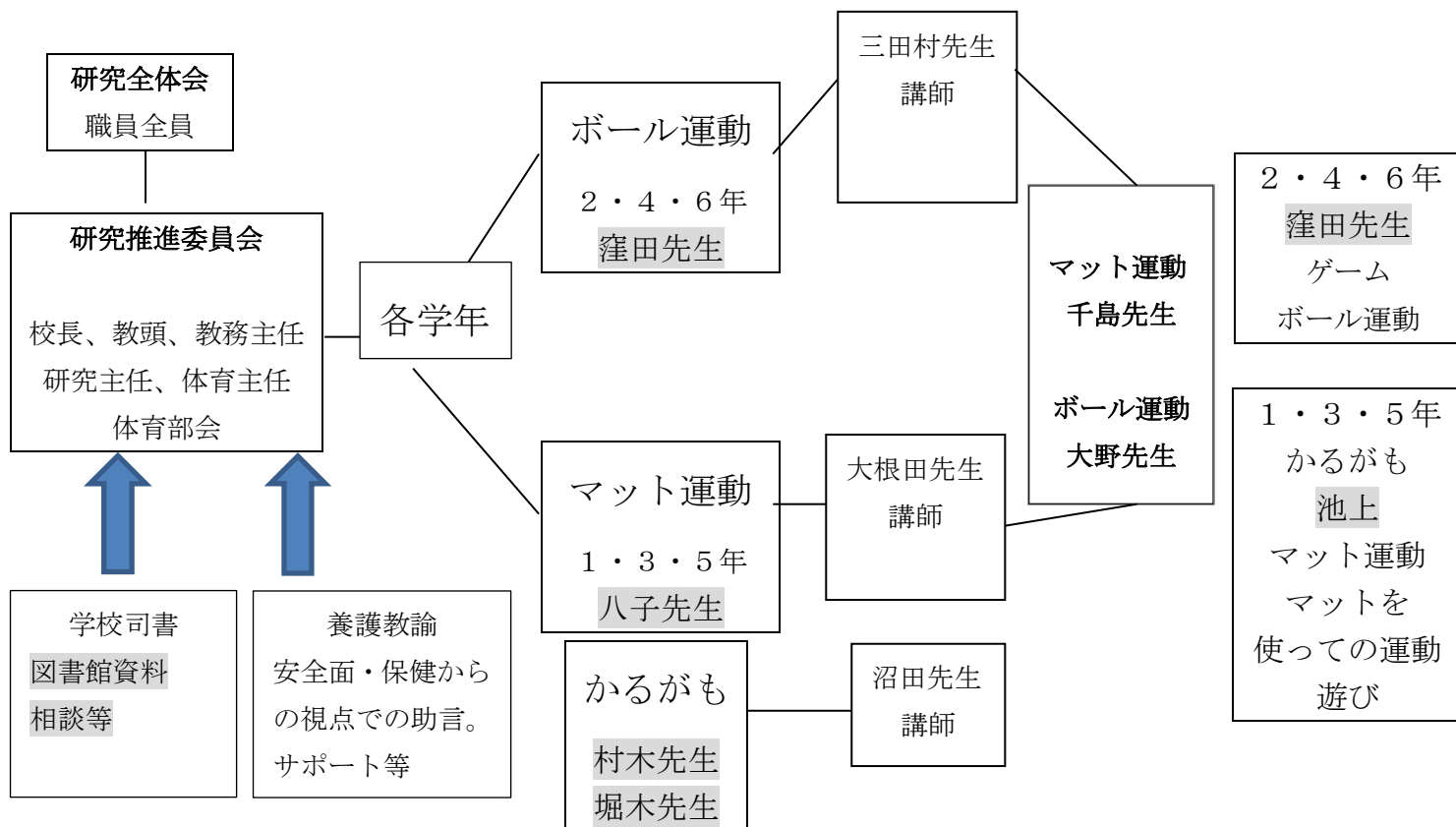
(5) 研究推進体制

指導案検討

研修授業

授業研究

協議会



(6) 平成27年度の研究の見通し

4月	4日（金）○研究推進委員会 研究計画の作成（研究主任他） 23日（木）○研究全体会 今年度の研究の見通し 30日（木）○研修・研究授業をする期間と活動場所を提出する
5月～ 7月 9月～ 12月	○研究の流れについて ① 各学年で指導案検討を行う（学年会や研究日に実施） ↓ ② ボール運動やマット運動の部会ごとに指導案検討を行う（研究日に実施） ↓ ③ 研修授業・研究授業を行う（日程を調整し、連絡します） ↓ ④ ボール運動やマット運動の部会ごとに協議会を行う（授業後に実施） ↓ ⑤ 研究仮説に対する反省（学年会や研究日に実施） ↓ ⑥ 各学年で単元計画と指導言語を作成する。（学年会や研究日に実施）
1, 2月	○研究紀要完成 （全ての学年の授業研究が終わり次第、紀要に綴じこみをします。日程については、週報または月行事で連絡します。）
3月	○研究推進委員会（次年度への見通し） ○研究のまとめ（職員会議）

(7) 研修授業・研究授業日の日程

○マットを使つての運動遊び・マット運動 <体育館>

学年	前期	後期
1	① 6/1 ～ 6/16 （2週間） ② 9/1 ～ 9/25 （3週間）	③ 11/9 ～ 11/20 （2週間） ④ 1/6 ～ 1/25 （3週間）
3	① 6/17 ～ 7/1 （2週間） ② 9/28 ～ 10/16 （3週間）	③ 11/24 ～ 12/4 （2週間） ④ 1/26 ～ 2/10 （3週間）
5	① 7/2 ～ 7/17 （2週間）	② 10/19 ～ 11/6 （3週間） ③ 12/7 ～ 12/22 （2週間）

○ゲーム・ボール運動（ゴール型） <校庭・体育館>

学年	前期	後期
2	<校庭>	
	① 6 / 1 7 ~ 7 / 1 (2週間)	⑤ 1 1 / 2 4 ~ 1 2 / 4 (2週間)
	② 9 / 2 8 ~ 1 0 / 1 6 (3週間)	⑥ 1 / 2 6 ~ 2 / 1 0 (3週間)
	<体育館>	
	③ 6 / 1 ~ 6 / 1 6 (2週間)	⑦ 1 1 / 9 ~ 1 1 / 2 0 (2週間)
	④ 9 / 1 ~ 9 / 2 5 (3週間)	⑧ 1 / 6 ~ 1 / 2 5 (3週間)
4	<校庭>	
		② 1 0 / 1 9 ~ 1 1 / 6 (3週間)
		③ 1 2 / 7 ~ 1 2 / 2 2 (2週間)
		④ 2 / 1 2 ~ 2 / 2 9 (2週間)
	<体育館>	
	① 9 / 2 8 ~ 1 0 / 1 6 (3週間)	⑤ 1 1 / 2 4 ~ 1 2 / 4 (2週間)
		⑥ 1 / 2 6 ~ 2 / 1 0 (3週間)
6	<校庭>	
	① 6 / 1 ~ 6 / 1 6 (2週間)	③ 1 1 / 9 ~ 1 1 / 2 0 (2週間)
	② 9 / 1 ~ 9 / 2 5 (3週間)	④ 1 / 6 ~ 1 / 2 5 (3週間)
	<体育館>	
	⑤ 7 / 2 ~ 7 / 1 7 (2週間)	⑥ 1 0 / 1 9 ~ 1 1 / 6 (3週間)
		⑦ 1 2 / 7 ~ 1 2 / 2 2 (2週間)
		⑧ 2 / 1 2 ~ 2 / 2 9 (2週間)

参考までに (6 / 2 6 音楽会 1 1 / 1 1 音楽会 1 / 2 7 合同訪問)

どの期間で授業研修・研究を行うのか、ゲーム・ボール運動を行う学年は、単元名と活動場所はどこかを決めてください。来週の木曜日までに連絡もらえると助かります。ご協力お願いします。

◇ 各学年研究する日、活動場所、授業者

学年	日程(候補)	活動場所	研修授業者	研究授業者
か				
1				
2				
3				
4				
5				
6				